

( Oracle ) Administrator Assistant for Windows (管理ツール) の使用方法

- ・ Windows ユーザーへのロール権限付与
- ・ オラクル用 Windows プロセスの把握 起動と停止操作

Oracle ホームと Oracle ベースのディレクトリ位置確認

Windows ユーザーへのロール権限付与


手順 1.

Oracle Administrator Assistant for Windows (管理ツール) の起動

[スタート] ボタン → [Oracle - OraDb11g\_home1] → [コンフィギュレーションおよび移行ツール] → [Administrator Assistant for Windows]

手順 2.

データベースの管理者に Windows ユーザーへのロール権限を付与した状態の表示

Oracle Managed Objects	名 前
└Computers	oracle_svr¥Administrator
└└oracle_svr (←サーバー名)	
└└└ Oracle ホーム	
└└└└OraDB11ghome	
└└└└外部 OS ユーザー	
└└└└ローカル・ロール	
└└└└外部 OS ロール	
└└└└OS データベース管理者 	
└└└└OS データベースオペレータ	
└└└└	
└└└└データベース	
└└└└└ORCL (←SID 名)	

OS データベース管理者への OS ユーザーの追加操作

[コントロール・パネル] → [管理ツール] → [コンピュータの管理]

コンピュータの管理

- └ システム ツール
- └└ ローカル ユーザーとグループ
- └└└ ユーザー

右ペインに表示されたユーザーを右クリックし、プロパティ [所属するグループ] に、ora\_dba を追加する

## Oracle用 Windows プロセスの把握 起動と完全停止の操作

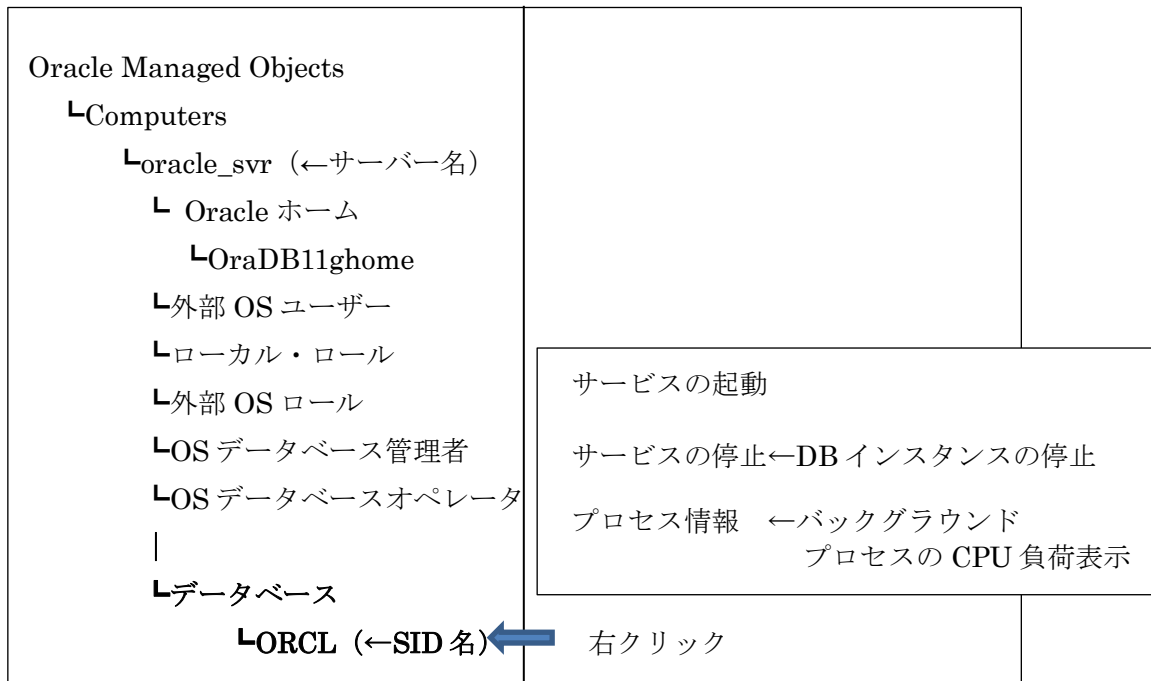
手順 1.

Oracle ) Administrator Assistant for Windows (管理ツール) の起動

[スタート] ボタン → [Oracle - OraDb11g\_home1] → [コンフィギュレーションおよび  
移行ツール] → [Administrator Assistant for Windows]

手順 2.

データベース名の右クリックで、起動と停止操作ができる



※ コントロール・パネル → 管理ツール → 「サービス」の設定からでも停止操作が行える

### 【メモ】

Oracle の停止操作は、UNIX では Windows のサービス・プロセス一覧画面がないので、コマンドもしくは、Configuration 関連のツールを使うこと

## Oracle ホームと Oracle ベースのディレクトリ位置確認

手順 1.

Oracle Administrator Assistant for Windows (管理ツール) の起動

[スタート] ボタン → [Oracle - OraDb11g\_home1] → [コンフィギュレーションおよび移行ツール] → [Administrator Assistant for Windows]

手順 2.

Oracle ホーム以下のメンバーのプロパティ値に表示される

The screenshot shows the Oracle Administrator Assistant interface. On the left, a tree view displays the directory structure under 'Oracle Managed Objects'. The path is: Computers > oracle\_svr (←サーバー名) > Oracle ホーム > OraDB11g\_home. A blue arrow points from the 'OraDB11g\_home' folder to the right-hand pane. The right-hand pane shows the 'Properties' dialog for this folder, with the 'Settings' tab selected. It displays the default database instance and the following environment variables:

パラメータ名	値
ORACLE_BASE	D:\oracle
ORACLE_HOME	D:\oracle\product\11.1.0\db_2

## ORACLE\_HOME、ORACLE\_BASE が指すディレクトリ位置

ORACLE\_HOME、ORACLE\_BASE が指すディレクトリ位置の調査方法  
サーバーのキーボードで、SQLPlus を使う

【UNIX/Linux】

```
SQL> @${ORACLE_HOME}
```

もしくは、

```
SQL> @$ORACLE_HOME
```

【Windows】

```
SQL> @%ORACLE_HOME%
```

実行結果

```
SP2-0310: ファイル"D:\¥Oracle¥product¥11.1.0¥db_2.sql"をオープン  
できません。
```

と表示される

この、**sql** の前までが、環境変数 ORACLE\_HOME に与えられているディ  
レクトリ位置となる

ORACLE\_BASE についても同様

```
SP2-0310: ファイル"D:\¥Oracle.sql"をオープンできません。
```

### ORACLE\_HOME の使い方

環境変数を使ったスクリプトのファイル位置指定の方法

【UNIX/Linux】

```
@${ORACLE_HOME}/rdAbms/admin/utlxplan.sql
```

もしくは、

```
@$ORACLE_HOME/rdAbms/admin/utlxplan.sql
```

【Windows】

```
@%ORACLE_HOME%¥sqlplus¥admin¥utlxplan.sql
```